

2015 ハンド・イン・ハンド街頭募金活動 387名のボランティアが参加

～テーマ:すべての子どもに5歳の誕生日を～

～花巻 2015年12月5日 盛岡 2015年12月12・13・19日～

(参加ボランティア:生徒・学生 320名、一般 67名 参加校:中学校 9校、高等学校 6校、大学 1校)

毎年、590万人の5歳未満の子どもたちが命を失っています。そのほとんどは感染症や下痢、栄養不良予防など本来防ぐことができる原因によるものです。

世界の子どもたちが5歳の誕生日を迎えられるように・・・

岩手県ユニセフ協会(滝沢市土沢)の「2015 ハンド・イン・ハンド街頭募金」活動は、花巻市が、12月5日、盛岡市は、12月12・13日、八幡平市内は12月19日に実施しました。この街頭募金には、中学生・高校生・大学生・一般ボランティア**382名**が参加しました。ユニセフ**募金額は584,657円**でした。

参加してくれたボランティアの皆さんは、はじめに「紙芝居」で世界の子どもたちの現状を知り、ユニセフの活動の概要を学んだうえで募金活動を行いました。

「私もユニセフのお世話になったのですよ。」とリュックからお財布をだす年配の方。「ノーベル賞をとった大村さんは、感染症を防ぐ薬を発見し子どもたちを救っていますね。」など、多くの方々とのおふれあいがありました。参加されたボランティアのみなさま、寒い中ご協力ありがとうございました。



▲カワトク前 : 河南中学校・盛岡中央高校の皆さん▲



▲アネックスカワトク前 : 黒石野中学校の皆さん▲





▲MOSSビル前：見前南中学校・盛岡中央高校・盛岡北高校の皆さん▲



▲ベルフまつぞの：松園中学校の皆さん▲



▲イオンモール盛岡：土淵中学校・盛岡中央高校

▲イオンモール盛岡南：大宮中学校・盛岡商業高校
滝沢第二中学校・盛岡中央高校・盛岡北高校

(感想)

・「今まで僕はテレビなどでユニセフの活動や子どものうちになくなってしまいうちがあることは知っていたが、これまでその活動に参加したり、募金したりする機会があまりなく、ほとんどできなかったけど、今回参加して、世界では5.4秒に1人のペースでなくなっていることを知っておどろきました。この機会に募金に参加できてよかったです。これからも募金に参加したり、募金していきたいです」(黒石野中 男子)

- ・「最初の方は声が出なくて、なかなかあいさつができなかったけど、時間が経つにつれて声がかげられるようになり、たくさんの方々が募金してくださったので嬉しかったです」（松園中 女子）
- ・「おつかれ様」や「がんばって」と協力してくださった方々に言ってもらって、人のぬくもりと命の尊さをあらためて感じる事ができた。自然と笑顔になれる活動だった。次回も参加したい。」（大宮中 女子）
- ・「たくさんの方が募金してくれました。小さい子どもやおじいちゃん、おばあちゃんいろいろな年代の方が募金をしてくれてよかったです。私もこれからこの活動に進んでとりくんでいきたい」（河南中 女子）
- ・「今日のように心を込めて声を掛けると、それが伝わって動いてくれる方が沢山いました。世界には自分が想像もつかない生活をしている人がいることを改めて感じ活動できました。」（盛岡中央高 男子）
- ・「今まであまり知らなかったけど、世界には、5歳の誕生日を迎えられない子どもたちがたくさんいるのだと初めて知りました。子どもたちを救うこの活動はとても良い活動だと思います」（滝沢第二中 女子）
- ・「5.4秒に1人の子どもが死んでいることに衝撃を受けました。はば広い年代の方が募金してくださることもわかりました。」（見前南中 男子）
- ・「今回で2度目の参加です。子どもが率先して募金してくれたのが嬉しかった。この募金活動で大変な思いもしたけど、貴重な体験だったし、1000円で83本のワクチンが買えることもわかったので、この体験を大切に、自分ができるボランティア活動を進んでやっていきたい」（土淵中女子）

【作成：岩手県ユニセフ協会（公財）日本ユニセフ協会協定地域組織】

お問い合わせ先：岩手県ユニセフ協会 事務局 電話：019687-4460